

受発注が！決済も！ 人手不足を救う プラス『つなぐIT』



2018年6月12日
中小企業庁委託

平成29年度「中小企業・小規模事業者決済情報管理支援事業」
事務局

本日お伝えしたいこと

受発注や決済で、もっと楽をしたくありませんか？

まずはコレ！

1. 受発注業務の生産性を向上する「つなぐIT」

- ✓ 中小企業共通EDI [平成28年度 中小企業庁委託事業成果] のご紹介
- ✓ 事例のご紹介
 - ① 株式会社 アクロスソリューションズ
 - ② 株式会社 NTTデータ
- ✓ 活用可能な支援施策のご紹介
- ✓ 「つなぐITコンソーシアム」のご紹介

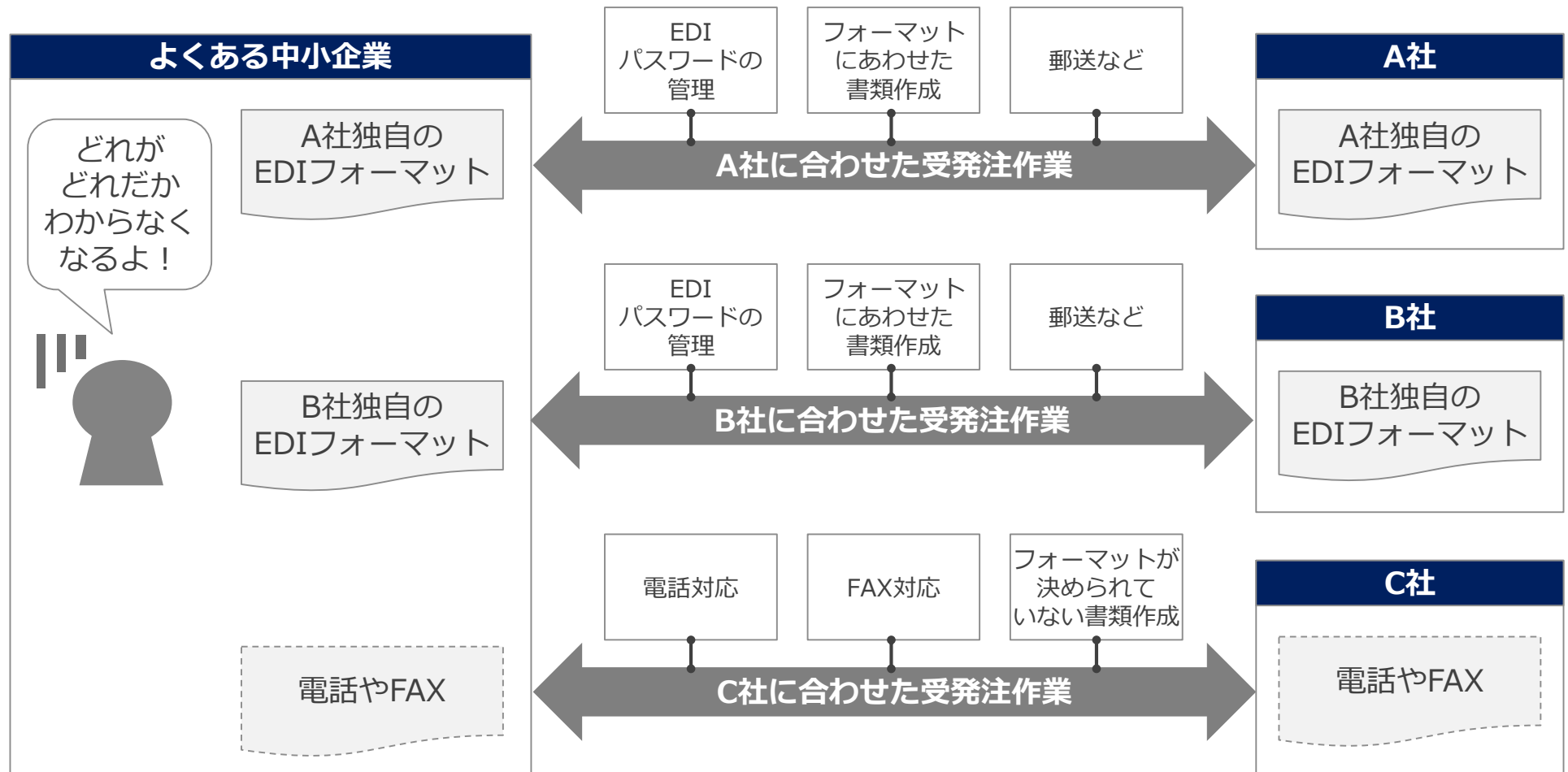
つぎはコレ！

2. 決済業務の生産性を向上する「つなぐIT」

- ✓ ZEDI（全銀EDIシステム）のご紹介
- ✓ 決済・商流情報連携基盤 [平成29年度 中小企業庁委託事業]のご紹介

1. 受発注業務の生産性を向上する「つなぐIT」

「よくある」中小企業の受発注は、作業が膨大！



取引先企業毎のフォーマットに併せて作成・送付し、受発注作業が膨大

感じていますか？そのデメリット

いま、こなせていても、実はこんなに損をしています

大きなデメリット 1

受発注業務が膨大

企業ごとに異なるフォーマットの注文書や納品書の作成に手間がかかるだけでなく、郵送の手間や代金の負担などが常に発生

大きなデメリット 2

人的ミスが多くなる

電話の聞き取りミス、FAXからパソコンへ入力する際のミス、計算ミスなど、取引件数が増えるごとにミスが増大

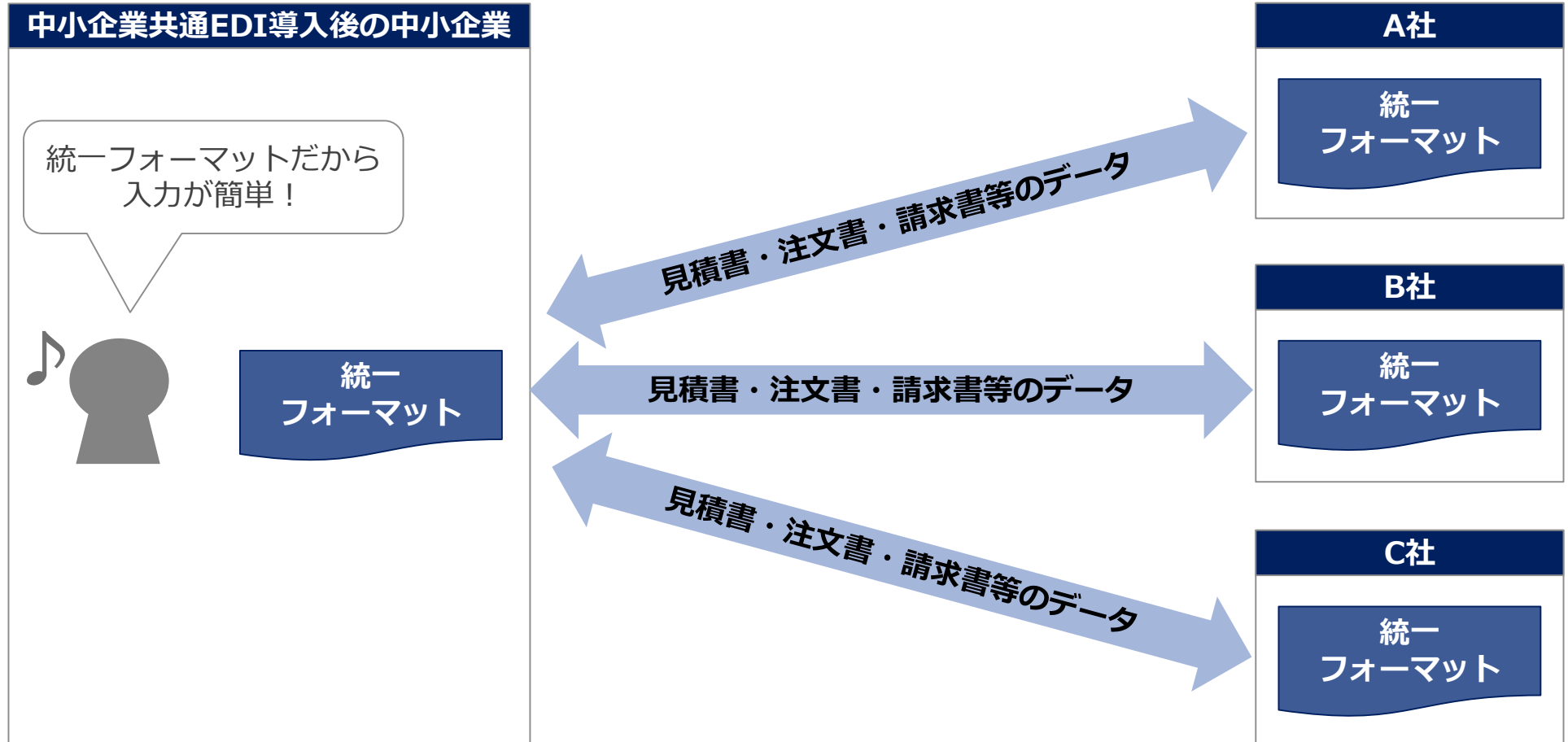
大きなデメリット 3

書類の管理が大変

書類を探すことが手間な上に保管するスペースも必要
紙での保管は書類紛失のリスクもあり

「つなぐIT」 “中小企業共通EDI”の特長

※ 取引先が中小企業共通EDIを導入している場合



統一フォーマットの利用により、受発注業務が簡略化

人手不足を救う！そのメリット

こんなに楽になるチャンスがあります

大きなメリット 1

効率アップでコスト削減

取引先にかかわらずフォーマットが統一しており、入力が簡単
データによるやりとりのため、紙の書類作成・送付など一連の手間を
大幅に削減

大きなメリット 2

人的ミスを軽減

登録されたデータは、納品書や請求書等の作成に流用可能なため、
書類作成毎のミスを軽減することが可能

大きなメリット 3

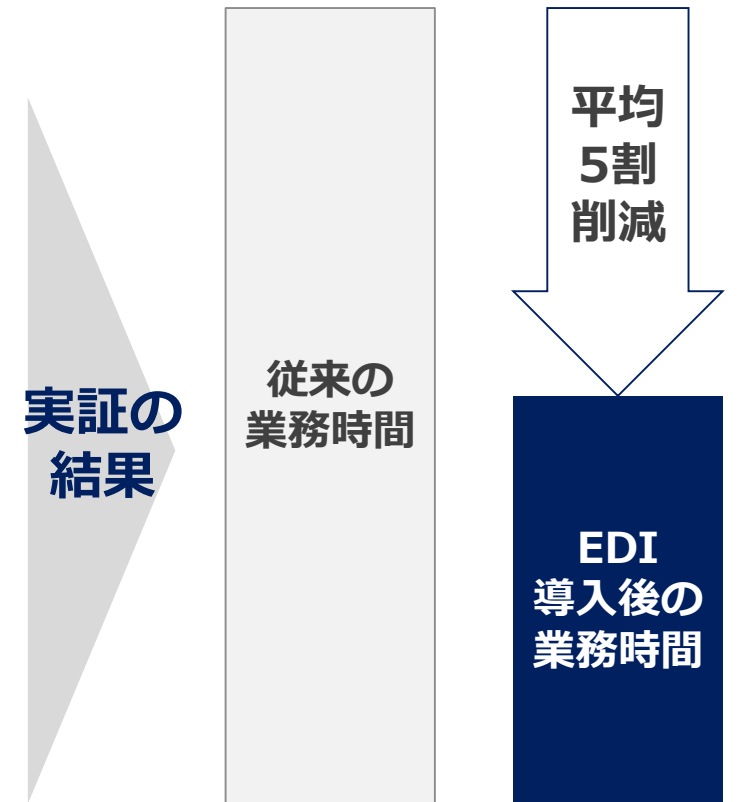
取引の検索が簡単

書類をデータ化して保存しているため、過去現在の取引データを簡
単に検索することが可能

調査事業*にて、その効果は実証済み！

12ものプロジェクトで実証検証を行い、平均5割の受発注業務時間を削減

#	中小企業共通EDI実証検証プロジェクト（代表者企業名）
1	株式会社 アクロスソリューションズ 紹介事例 ①
2	株式会社 イークラフトマン
3	株式会社 エクス
4	株式会社 NTTデータ 紹介事例 ②
5	花王 株式会社
6	小島プレス工業 株式会社
7	株式会社 サンアドバンス
8	株式会社 スマイルワークス
9	トピックス 株式会社
10	武州工業 株式会社
11	メタウォーター 株式会社
12	矢崎部品 株式会社



事例 ①

株式会社 アクロスソリューションズ

MOS

Mobile Ordering System

www.mosjapan.jp

ACROSS
Solutions





MOS

Mobile Ordering System

MOSはFAX・電話の代わりとなる
モバイル環境に特化した
受発注システムパッケージです。

発注者が使いやすいよう
発注画面をモバイルに特化させた
業務用のWEB受発注システムパッケージ

MOS

Mobile Ordering System



こんな企業様(受注企業)に
「最適」です。

- FAX・電話による受注業務を行っている企業様に最適です。
- 取引先の発注環境が店舗、倉庫、営業出先などの企業様に最適です。
- ITに不慣れな発注者様をかかえている企業様に最適です。
- ある程度いつも決まった商品を受注している企業様に最適です。
- 大規模なEDIやEOSでは投資対効果が合わない企業様に最適です。





お客様がMOSを選ぶ最大の理由

この3つが当てはまるお客様にはMOSが最適です

1 発注者の環境がモバイルに適している

発注者の環境が店舗、倉庫、営業先などの出先である場合にMOSが最適です。
MOSはECサイトをBtoBにしたソフトではなく、発注者の環境をとことん考え抜いた、モバイル視点のパッケージソフトです。

2 カスタマイズ対応で自社に合った運用が可能

カスタマイズができないASP版やクラウドソフトではなく、お客様の業務運用に合わせたカスタマイズ対応が可能です。
ベースはパッケージソフトを使っているので投資対効果がある「しくみ」を導入できます。

3 基幹システムを導入しており、連携を希望している

自社でしっかりと基幹システムを導入しているお客様が、MOSを導入しています。
CSV連携、自動連携を活用し、MOSで受け取った受注データを基幹システムに取り込み、受注業務を自動化しています。
現在お使いの基幹システムや販売管理ソフトとも連携可能です。



このような取引先である場合にMOSが最適です

ACROSS
Solutions

●発注者の環境が現場である



店 舗



営業出先



倉 庫



出先(拠点)



作業場



その他パソコンが
置けない

●発注者がパソコンに不慣れである

1. パソコンが苦手
2. パソコンが使えない環境

●発注者が手軽さを求めている

1. 発注業務に時間をかけたくない
2. FAX・電話・メールの発注業務が面倒くさい
3. 現在の発注システムが使いにくい

モバイルで発注すると便利な場合に最適です。

様々な業種業態でMOSが使われています

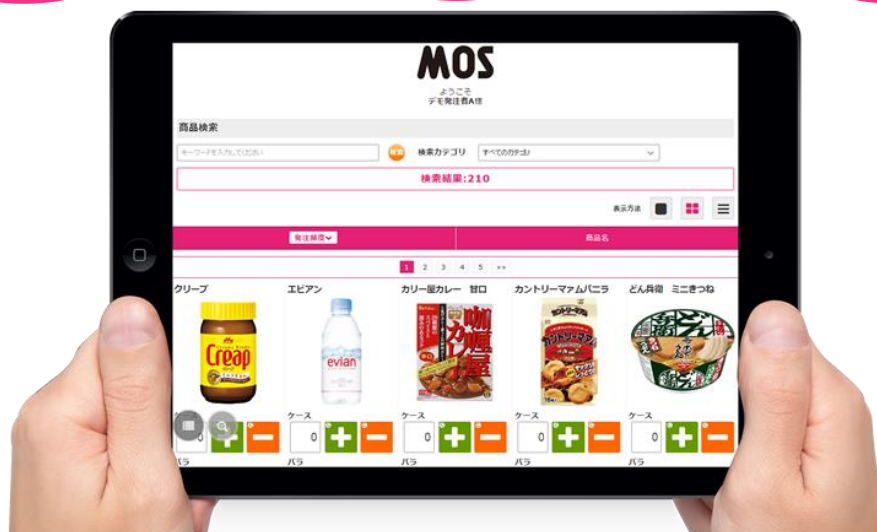
ACROSS
Solutions

**国内
173社**

2018年6月現在

**国外
2社**

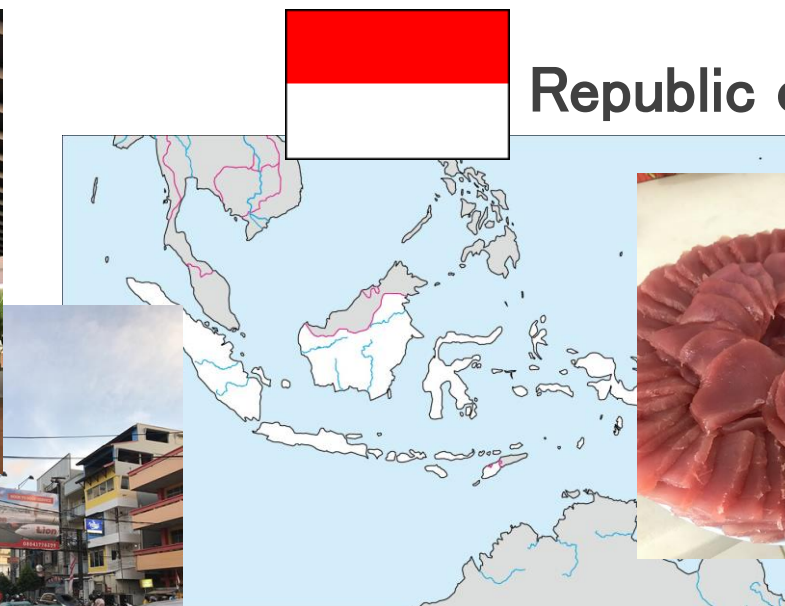
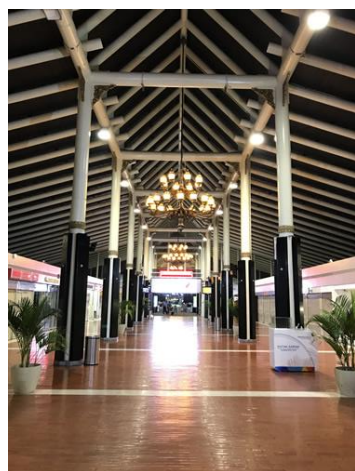
**発注者総数
約90,000人**



- 酒類卸売・小売業
 - 食品卸売・小売業
 - 包装資材卸売・小売業
 - 鮮魚仲卸売業
 - インテリア雑貨卸売業・小売業
 - 装飾品卸売業
 - パチンコ景品卸売業
 - 福祉用具卸売業・小売業
 - 医薬品卸売業
 - 塗料卸売業
 - 化粧品卸売業
 - 建設資材卸売業
- など



MOSは、
平成28年度 中小企業庁次世代企業間データ連携調査事業に採択されました



Republic of Indonesia



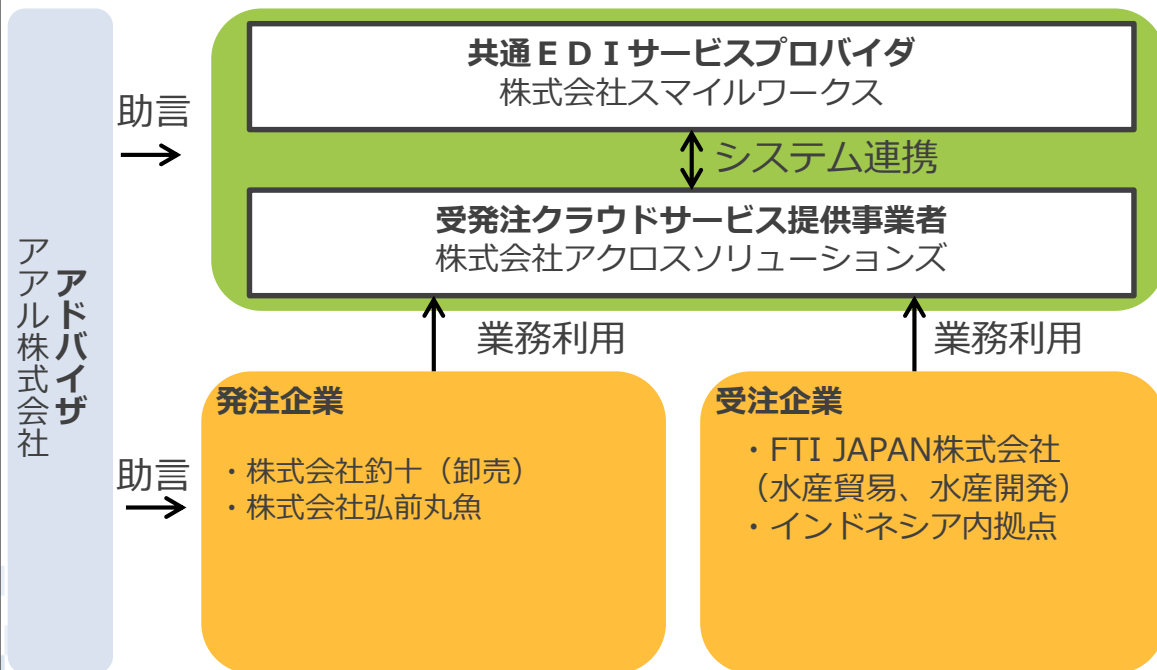
農林水産業界(鮮魚)における日本とインドネシア間の共通EDI連携成果のご報告

インドネシアでマグロを水揚げする企業、インドネシアからマグロを輸入し日本国内に流通する企業、マグロを仕入れる国内企業の3社間をEDIで結ぶ実証検証事業。

<ポイント>

トレーサビリティ機能（個体識別情報）、スマホ・タブレットで利用可能なクラウドサービス

実証参加企業



本事業の成果見込

- ・実証参加企業の受発注に係る業務負担（FAX、電話、SNSなど複数手段による連絡、手動での在庫確認）を削減し、顧客開拓、物流フローの整備などの本来業務にリソースを集中させる。
- ・トレーサビリティによる品質（安心・安全）のPRなど



事業終了後の普及計画

国内102社、海外1社の導入実績がある受発注クラウドサービスを他の業務システムと連携させることで全国代理店網を活用し、また、トレーサビリティ機能を農林水産業に展開し、2022年までに中小企業を中心として累計販売数150社への導入を目指す。

中小企業のEDI実証導入事例(FTI JAPAN株式会社)

- 今まで**電話やFAX**で行われていた発注企業と受注企業間の商取引をEDI化
- 今まで**Lineや電話**で行われていた日本とインドネシア間の商取引をEDI化
- インドネシアの**マグロの品質を「見える化」**し、消費者に安心・安全を提供(トレーサビリティ機能)

受注企業情報

企業名 FTI JAPAN株式会社
所在地 東京都千代田区内神田2-4-2
事業内容 1.水産貿易事業(国内) 2.水産開発事業(海外)
事業規模 従業員数8名、売上高 1億2,000万

発注企業情報

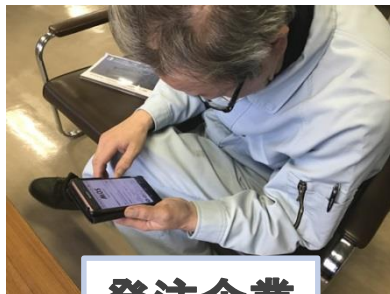
企業名 株式会社弘前丸魚
所在地 青森県弘前市末広1丁目5-1
事業内容 水産物地方卸売市場
事業規模 従業員数29名、売上高 91.9億円

水揚げ拠点情報

企業名 各水産企業
所在地 インドネシア各地10か所

EDI実証導入内容

- 日本とインドネシア間の受発注を効率化する為にMOS※を導入。
 - インドネシアのマグロに個体識別情報を付与しマグロの状態を日本からでもトレースできるようにした。
- ※MOSをカスタマイズ



発注企業

EDI実証導入時に工夫した点③

- 日本の発注者側では**モバイルでも個体識別情報や在庫情報を確認し、そのまま発注できる**ようにした

EDI実証導入時に工夫した点②

- **インドネシアの水揚げ情報**(個体識別情報)や**発注者からの発注内容**をすべて管理画面で**把握管理**できるようにした
- 納品書/配送指示書などの**帳票類をボタンひとつで出力**できるようにした



受注企業

EDI実証導入時に工夫した点①

- インドネシアの漁師の方にとって分かりやすいカンタンなUIを提供
- **スマホでもトレーサビリティ情報を入力**できるようにした
- 10か所の漁港の**漁師さん向けに管理画面をインドネシア語にローカライズ**
- **集約されるバリでマグロの個体識別情報を編集**できるようにした(水揚げ拠点、集約拠点別々の管理画面を用意)



水揚げ拠点



F A X
電 話 は
く ず か へ



MOS
Mobile Ordering System

業務用受発注を変える。

事例 ②
株式会社 NTTデータ

海外との輸出入をされている中小企業様へ

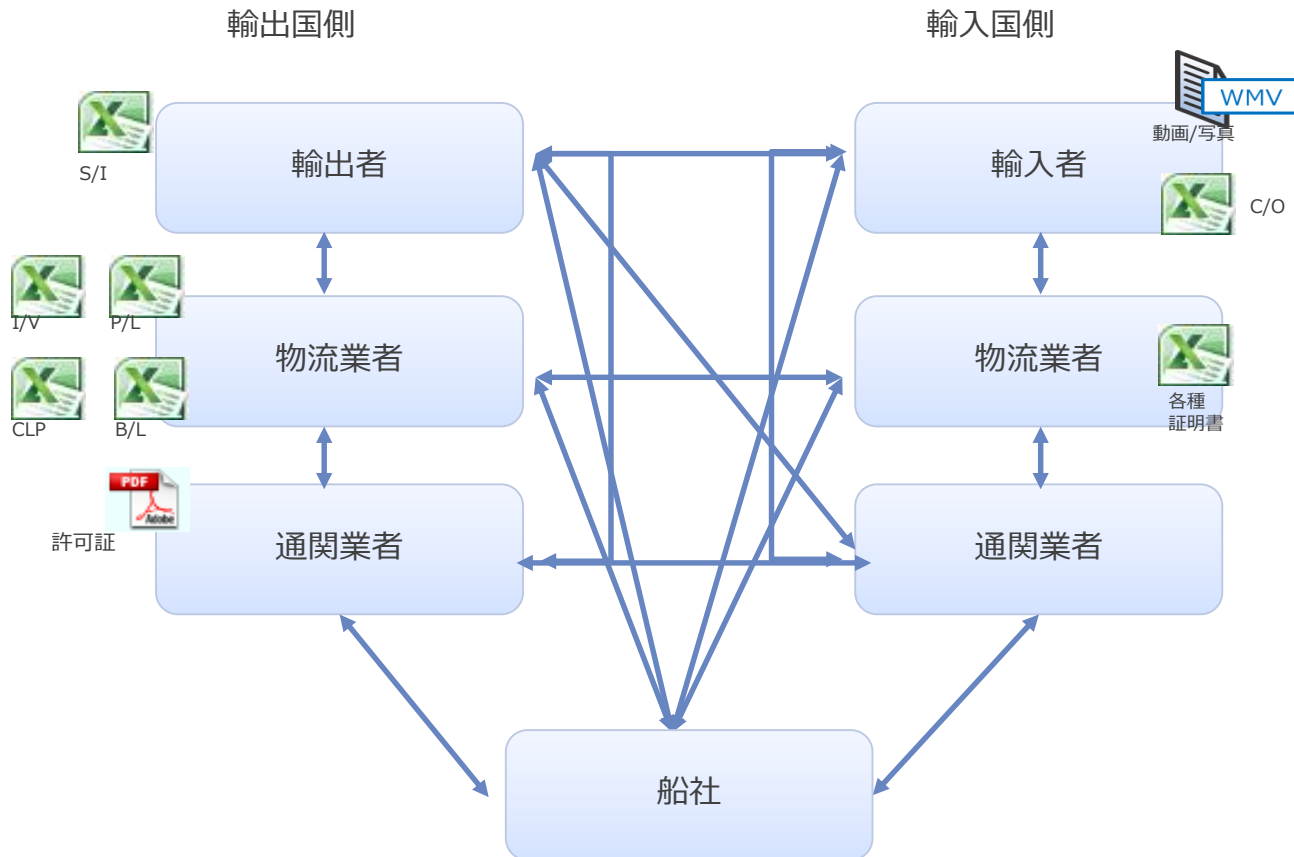
クラウドでの
電子帳簿交換・電子帳簿保存

をリーズナブルに導入するチャンスです！

輸出・輸入に関する貿易文書のやり取り、、

激しいメールの応酬になっていないでしょうか？

- ✓ 多くの企業がコミュニケーションをメール・FAXで行っており情報が散逸
- ✓ 情報が検索できず帳票の再利用ができない



輸出・輸入に関する貿易文書の保管、、

大量の紙資料を何年も倉庫に保管していないでしょうか？

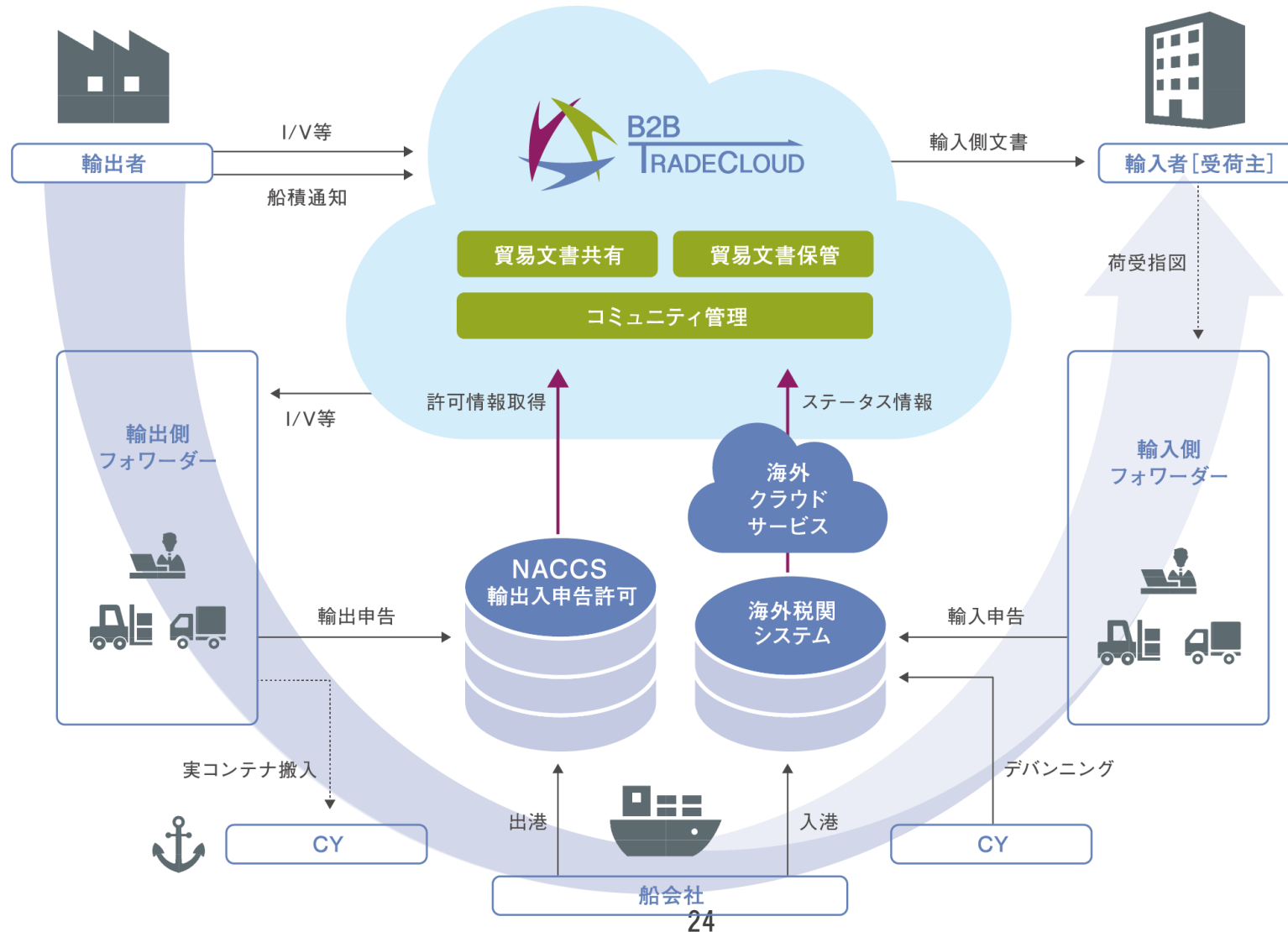


税関様による監査対応のため、
5年～7年の保管義務

電子帳簿保存法の適用を受け
られなければ、紙で原本を保管
し続けなければならない。

B2B TradeCloudとは・・・

企業間の貿易文書をクラウドで一元化



セキュアに共有できるクラウド上で 企業間で相互に貿易文書を更新しながら 輸出入手続きを進める

...

そして、手続きが終わったら、電子保管も完璧！！



クラウド上で荷主・フォワーダー・保険会社・海外の荷主とが、必要な情報を共有更新しながら業務遂行
通関許可情報もNACCSから自動的に取得！



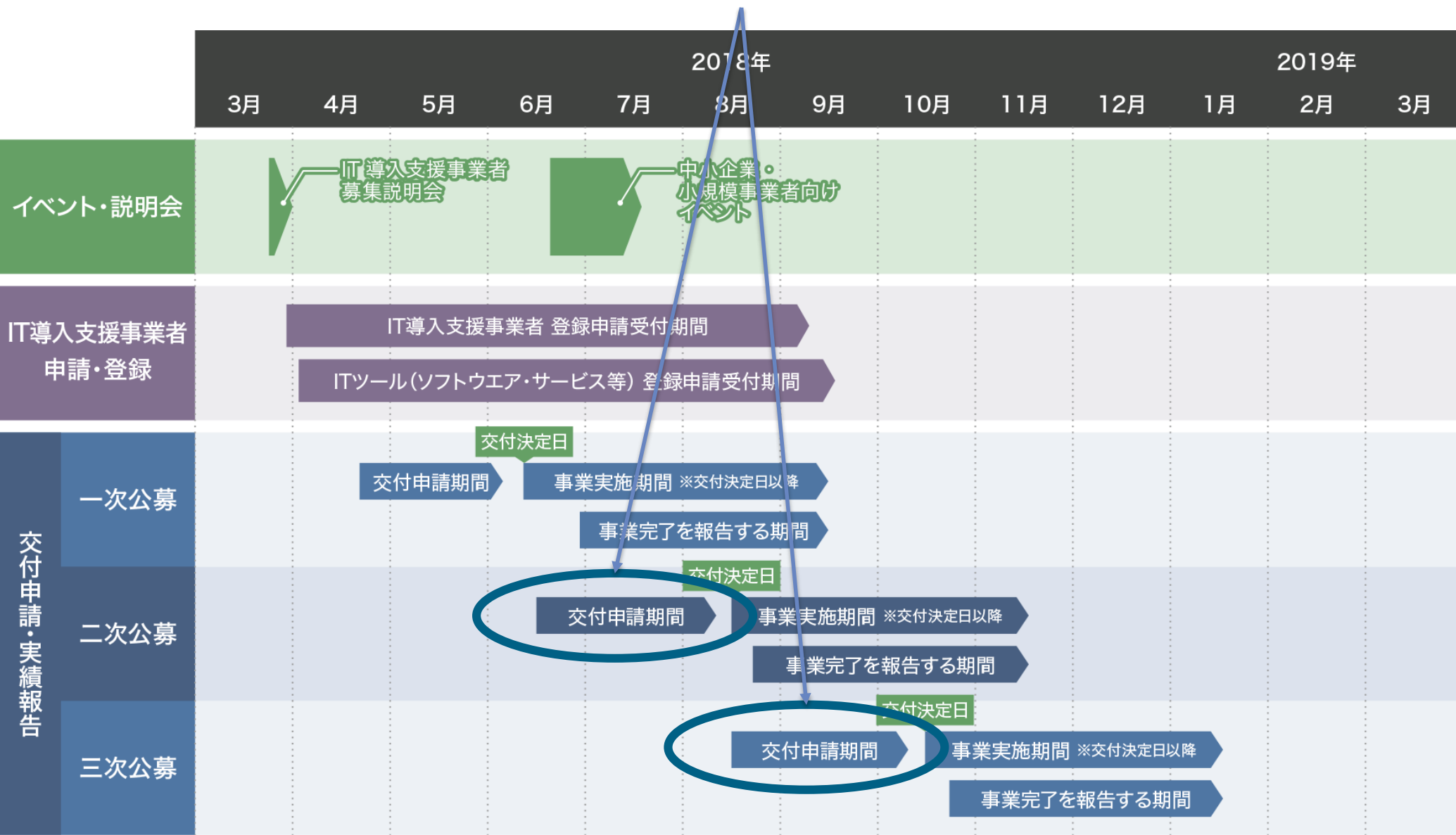
文書を電子的に保管することで、監査時の業務負担が大幅に軽減！
電子帳簿保存法に申請することで、大量の紙の資料を保管する必要がなくなります。



共有される大量の文書には、検索のためのキーワード（インボイス番号、NACCS申告番号など）を自動的に電子刻印！
関連文書や基盤システムからのインターフェース電文内から全文検索し、必要な情報が容易にアクセスできます。

経産省中小企業庁 平成29年度補正予算「サービス等生産性向上IT導入支援事業」にて、
中小企業向けの導入補助対象ITソリューションとしてご採択いただいています。

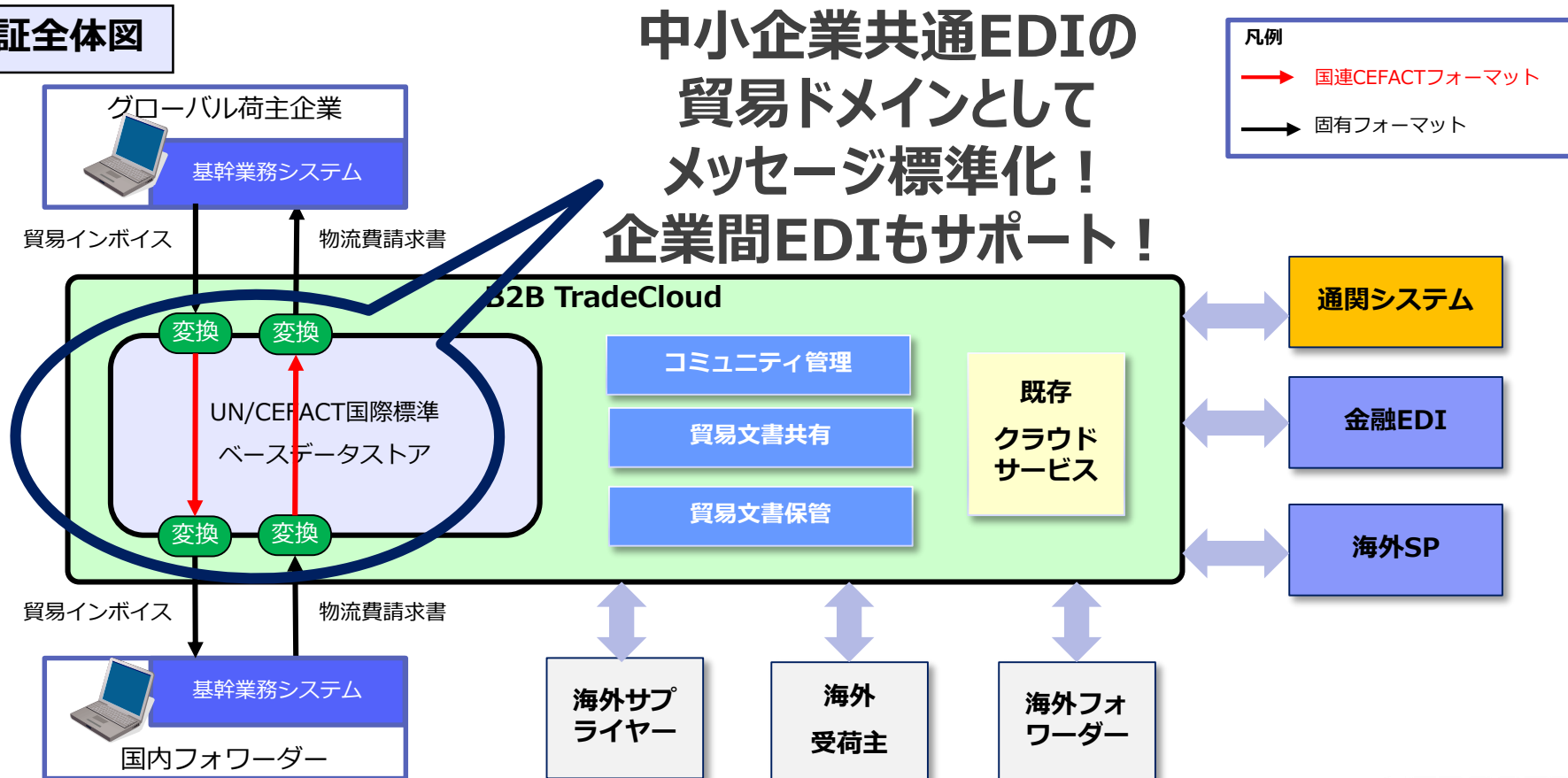
今が、チャンスです！！リーズナブルに輸出入を楽しませんか？



平成29年度中小企業庁様実証 次世代企業間データ連携プロジェクトにて有効性を検証！



実証検証全体図





2017年11月

クラウド認定受賞

中小企業経営に効果的なサービスとして認定されました！



海外のお客様にも展開中
貿易相手とのやり取りも、大丈夫です！



**ブース No. 2にて
デモンストレーションを
展示しています。**

どうぞお越しください！！

ありがとうございました。

中小企業共通EDIを導入するなら今がチャンス！

1. サービス等生産性向上IT導入支援事業 (IT導入補助金)

中小企業等の生産性向上を実現するため、バックオフィス業務等の効率化や新たな顧客獲得等の付加価値向上（売上向上）に資するITツール（ソフトウェア、サービス等）を導入する際の経費の一部を補助します。

IT導入補助金事務局ホームページ
<https://www.it-hojo.jp>

2. ものづくり・商業・サービス経営力向上支援事業

中小企業者が取り組む生産性向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等を支援します。

地域事務局（各都道府県中央会）ホームページ
<http://www.chuokai.or.jp/link/link-01.htm>

3. 軽減税率対策補助金

軽減税率の対象となる商品を扱っている事業者が、POS、セルフ、モバイルレジ等の買い替えや受発注システムの改修等をしたい中小企業者に対しその経費の一部を補助します。

軽減税率対策補助金事務局ホームページ
<http://kzt-hojo.jp/>

4. 日本政策金融公庫による融資

ITを活用した事業を行う際、日本政策金融公庫の融資が受けられます。

日本政策金融公庫 全国各店舗
<https://www.jfc.go.jp/n/branch/index.html>

5. ミラサポ専門家派遣

よろず支援拠点や地域プラットフォームが、個々の中小企業者の経営課題に応じた専門家を派遣します。ITにおいては、ITを活用した経営戦略の策定からIT導入に至るまで様々なステージの取組を専門的見地から支援します。

専門家検索ページ
<https://www.mirasapo.jp/specialist/> または「ミラサポ専門家」で検索

お問い合わせは「つなぐITコンソーシアム」まで！



実証検証*に参加したITベンダーを中心に、中小企業共通EDIの普及推進を目的とした「つなぐITコンソーシアム」を結成

中小企業共通EDIで生産性向上を目指す皆様を協力をサポート！

つなぐITコンソーシアム メンバー (設立発起人) <五十音順>

- | | |
|--------------------------------|----------------------|
| ・ アール株式会社 | ・ 株式会社アクロスソリューションズ |
| ・ 株式会社アプストウェブ | ・ 株式会社イークラフトマン |
| ・ 株式会社インフォーマット | ・ 株式会社エクス |
| ・ 株式会社NTTデータ | ・ 株式会社グローバルワイズ |
| ・ 小島プレス工業株式会社 | ・ 株式会社サンアドバンス |
| ・ 株式会社スマイルワークス | ・ 株式会社DTS |
| ・ トピックス株式会社 | ・ ピー・シー・エー株式会社 |
| ・ 碧南商工会議所 | ・ 一般社団法人クラウドサービス推進機構 |
| ・ 特定非営利活動法人 ITコーディネータ協会（事務局担当） | |

詳しくは ...

つなぐITコンソーシアム

<https://tsunagu-it.com/cons/>

つなぐITコンソ

検索

つなぐITコンソーシアム 事務局

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-17-8 浜町平和ビル7階

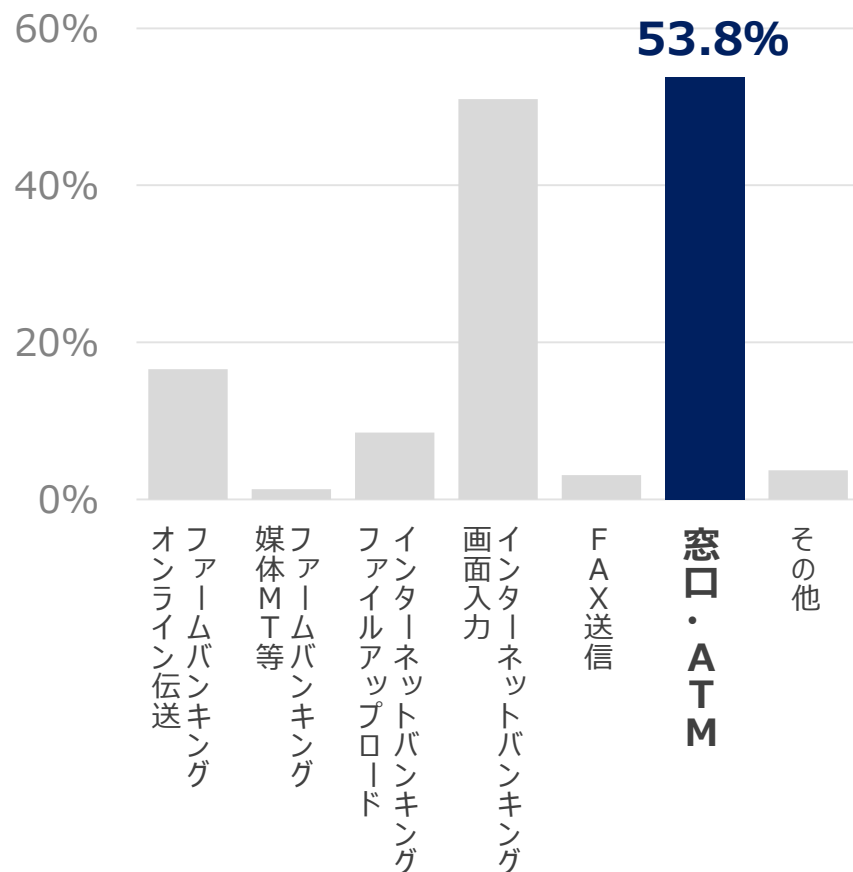
特定非営利活動法人 ITコーディネータ協会 内

TEL 03-3527-2185

2. 決済業務の生産性を向上する「つなぐIT」

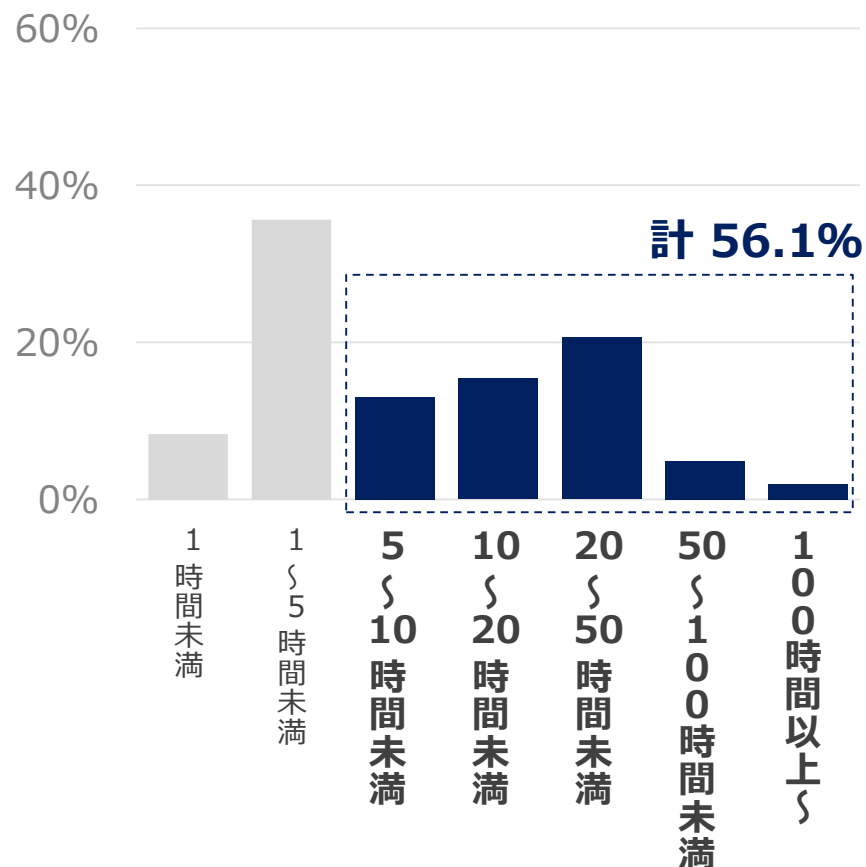
「よくある」中小企業の決済事務も、とても非効率!

振込を行う場合に用いている手段・件数



半数以上の中小企業が
銀行窓口やATMに出向いて代金支払い

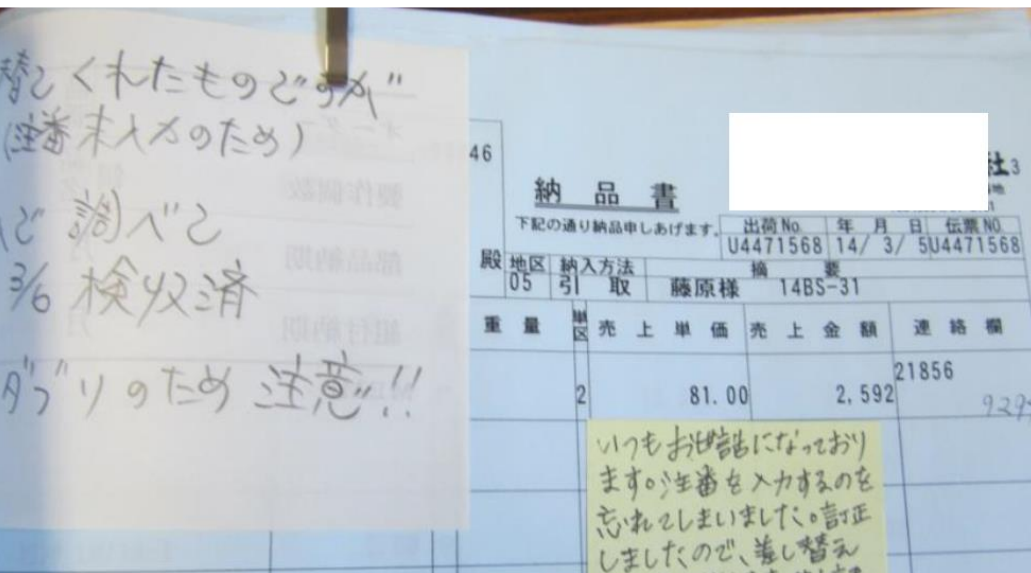
入金消込業務にかかる月間の平均時間



半数以上の中小企業が
入金消込業務に月5時間以上の手間

「伝票の山」の世界から脱した、生産性向上事例

大手自動車部品メーカーと取引先の中小企業の事例



伝票とメモ用紙の運用で、
ミスが多かった

売掛金と入金額が
合わない...



伝票の山の中から差異を探し出し、
大きな手間がかかっていた

注文、請求、支払いの業務をIT化し、それらの情報を活用することで、
消込業務の自動化ができるアプリケーションを開発

年間、約200時間～約2000時間の業務時間効果削減

本年12月（予定）、“ZEDI*”により振込みが便利に！

* ZEDI（ゼディ）：「全銀EDIシステム」の愛称

お金を受け取る企業
（受取企業）

総合振込の際に
設定可能な情報

お金を振り込む企業
（支払企業）

現状

売掛金と
入金額が合わない！

振込先・
金額情報

EDI情報
（20桁）

問合せて
大変だ！

今後

EDI情報が拡充された
おかげで、売掛金と入金額
の照合が楽になったよ

振込先・
金額情報

ZEDIで
拡充

拡充されたEDI情報
（XML電文）

業務に集中できるよう
なってよかった

売掛金の消込作業が効率化

設定可能な情報が拡充

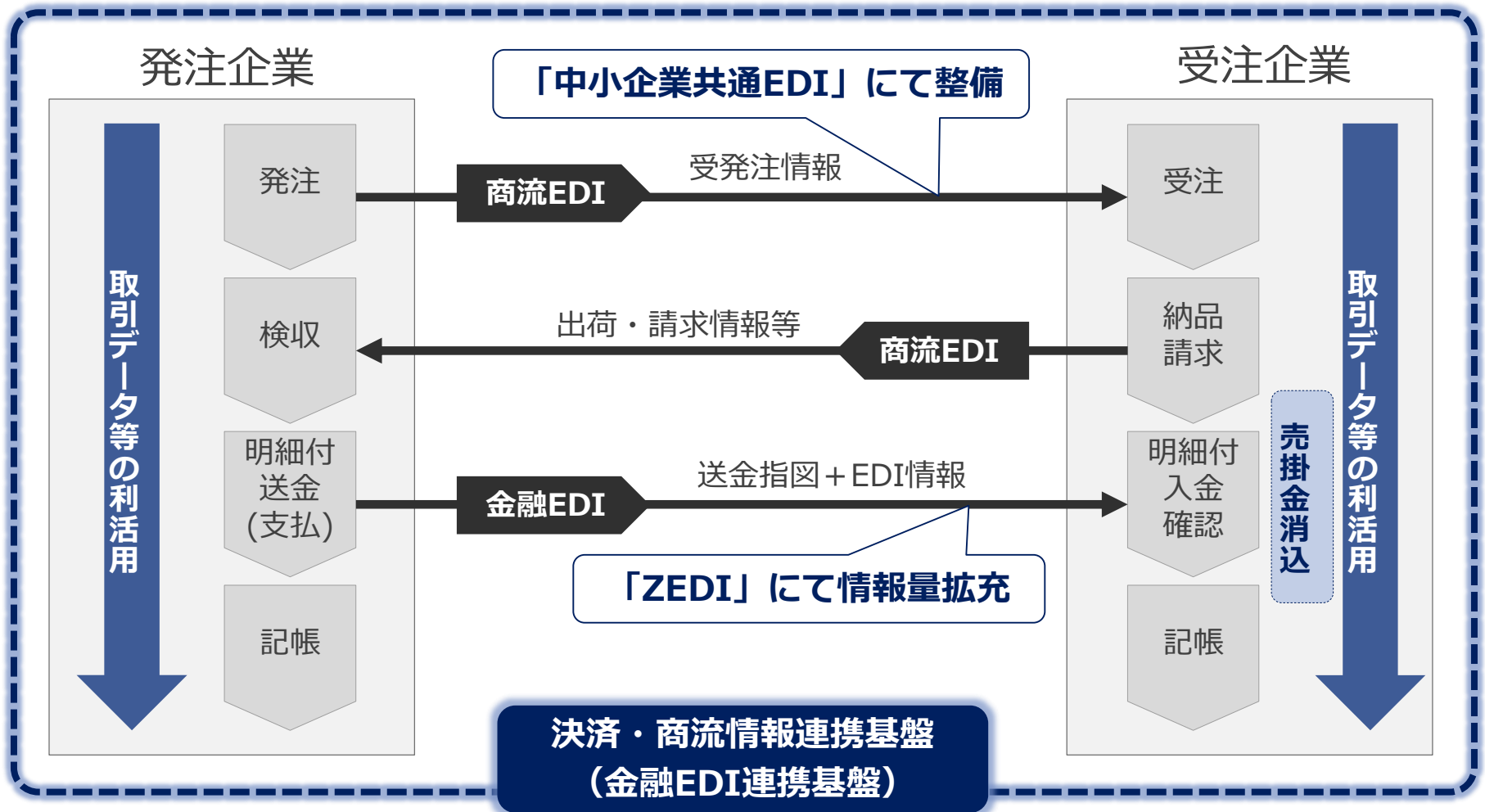
問合せへの対応負担が軽減

受取企業と支払企業の双方において、生産性向上や人手不足解消につながります

詳しくは

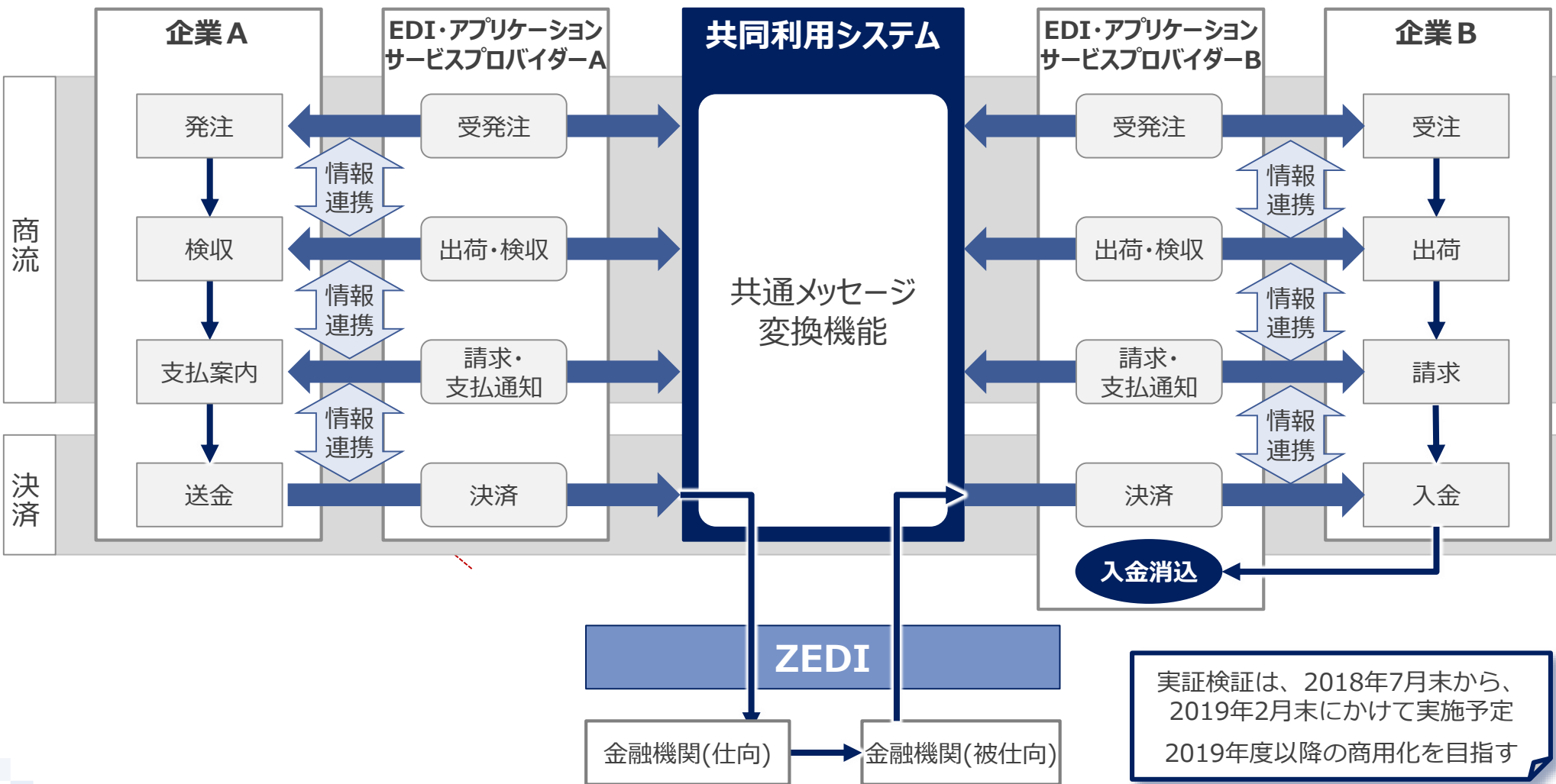
全国銀行協会（<https://www.zenginkyo.or.jp/abstract/efforts/smooth/xml/>）
全国銀行資金決済ネットワーク（<https://www.zengin-net.jp/announcement/>）

ZEDIを活かす「つなぐ」全体の仕組みが必要です！



注文から決済まで一連の業務情報をつなぎ売掛金消込等するための基盤（仕組み）が必要

本事業にて検証する「決済・商流情報連携基盤」の仕組み



「共同利用システム」が存在することによる「全体最適」な仕組みについて実証検証

END

アンケートへのご記入をお願いいたします

ボールペン・アンケートは座席の上
または係の者にお渡してください

P.3 4 振込を行う場合に用いている手段・件数入金消込業務にかかる月間の平均時間

中小企業庁 2017年3月「決済事務の事務量等に関する実態調査 調査報告書」

http://www.meti.go.jp/meti_lib/report/H28FY/000685.pdf

P.3 5 「大手自動車部品メーカーと取引先の中小企業の事例」

経済産業省 産業・金融・IT融合に関する研究会（FinTech研究会）

（第4回）-配布資料 資料3「商流・金流情報における現状と課題について」

http://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/sansei/fintech/pdf/004_03_00.pdf

日本銀行 ITを活用した金融の高度化に関するワークショップ（第3回「商流情報と金融の融合」）「中小企業におけるITクラウドを活用した「金融EDI連携（国際EDI標準）」の実証実験」

http://www.boj.or.jp/announcements/release_2015/data/rel150227a3.pdf